

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)

【公開番号】特開 2017-83832 (P2017-83832A)

【公開日】平成 29 年 5 月 18 日 (2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報 2017-018

【出願番号】特願 2016-207527 (P2016-207527)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/133 5 5 0

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 2 1 K

G 0 9 G 3/20 6 9 1 Z

G 0 2 F 1/133 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 23 日 (2019.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マトリクス上に配置された複数の画素を有し、

前記画素は、第 1 乃至第 3 のトランジスタと、第 1 及び第 2 の容量素子と、液晶素子と

、第 1 乃至第 4 の配線と、を有し、

前記第 1 のトランジスタの第 1 端子は、前記第 1 の配線に電氣的に接続され、

前記第 1 のトランジスタの第 2 端子は、前記第 3 のトランジスタの第 1 端子と、前記液晶素子の第 1 端子と、に電氣的に接続され、

前記第 1 のトランジスタのゲートは、前記第 2 の配線に電氣的に接続され、

前記第 2 のトランジスタの第 1 端子は、前記第 3 の配線に電氣的に接続され、

前記第 2 のトランジスタの第 2 端子は、前記第 3 のトランジスタのゲートと、前記第 2 の容量素子の第 1 端子と、に電氣的に接続され、

前記第 2 のトランジスタのゲートは、前記第 4 の配線に電氣的に接続され、

前記第 3 のトランジスタの第 2 端子は、前記第 1 の容量素子の第 1 端子に電氣的に接続され、

前記液晶素子の第 2 端子には、第 1 の電圧が与えられ、

前記第 1 の容量素子の第 2 端子と、前記第 2 の容量素子の第 2 端子とには、第 2 の電圧が与えられ、

前記液晶素子は、コレステリック液晶を用いる表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記液晶素子への応力の付与により前記コレステリック液晶の反射率が変化する領域と、前記液晶素子への電界の印加により前記応力が加わっても前記コレステリック液晶の反

射率が変わらない領域と、を有する表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、

前記液晶素子への応力の付与により前記コレステリック液晶をプレーナ状態に変化する領域と、前記コレステリック液晶への電界の印加により前記応力が加わってもフォーカルコニック状態が維持される領域と、を有する表示装置。

【請求項 4】

請求項 2 又は 3 において、

前記画素は、第 1 の可撓性基板と、第 2 の可撓性基板との間に位置する表示装置。